

# 鉄道に乗って / ローカルな台湾に出会う旅 PART 2

基隆、宜蘭線編

山陽電車と台湾鉄道管理局のご縁から始まった山陽電車⇔台湾交流企画。先月からエスコートでも、鉄道×現地での触れ合いを楽しむ「ローカルな台湾」を特集。今月は、取材班が基隆と宜蘭線で途中下車して注目のスポットへ向かいます。



撮影・林志浩



## 基隆

台北駅から基隆駅までは約50分。  
列車に揺られてやってくれば、そこは台湾北部を代表する港町。  
活気あるムードになんだか心が躍る!

### 基隆廟口夜市

台湾といえば夜市。基隆廟口夜市は奠濟宮という廟宇の門前に開けた夜市で、港町ならではのグルメが味わえる。台湾でも屈指の屋台街であり、このためにわざわざ訪れる人も多い。取材時、廟宇の前では人形劇が行われており、観劇する人の姿も。賑やかでありながらもゆったりとした独特の空気感にハマること請け合い。



基隆市仁三路  
17:00頃～  
年中無休  
「基隆駅」南西徒歩約10分

### 取材班の旅メモ①

電光掲示板は意外と読める!?



駅ではたくさんの電光掲示板を目にする。読めない...と思いつつも、目を凝らしてみよう。左から、「車次」は列車番号、「開往」は行き先、「備註」は備考で、遅れがあればここに表示される。「準点」は時刻通り、遅れがあれば「晚10分」(10分遅れ)。ちなみに、右の「月台」はホームのこと。



できたて  
ほやほやだよ～



天婦羅35元。甘い  
いたしが癖になる。



名物は「天婦羅」。さつま揚げのような料理に甘いいたしがかった一品で、着休めに添えられたきゅうりが爽やか。他にも、海の街・基隆らしく海鮮系の屋台が多く、蟹おこわ、エビスープなど海鮮グルメが目白押し。お腹を空かせて訪れよう。

ちょうちゃんが  
いい感じ



高貴さ  
ただよう



髪を結い上げた  
女王のシルエットに  
見えるクイーンズ・ヘッド。



きこ岩と呼ばれる奇岩が至るところに点在。かなり壮観!



# Yilan Line / 宜蘭線

## ジャオシー 礁溪

宜蘭を代表する温泉地である礁溪。温泉旅館が立ち並び、まるで町全体が温泉街のよう。その様子は駅にも見られ、駅前の広場にはどんと足湯スペースが。もちろん無料で、駅を訪れる人々が気軽に入っていく。ここから徒歩約10分の温泉公園には木造の銭湯(有料)もあり、泊まりでなくても本格的な温泉に入ることができる。

「礁溪駅」駅前広場



台湾東部を走る、溪谷や海などの豊かな自然に囲まれた宜蘭線。先月号で特集した東北角エリアよりさらに南へ行くと、温泉やユニークな駅、今話題のウイスキー工場など、地域色豊かなゾーンに突入。ホットな宜蘭を体感しよう。



取材時には仲睦まじく入る親子の姿が。

## イラン 宜蘭



### イランツォガン 宜蘭車站

空飛ぶSL列車、駅舎から覗くキリン…。カラフルでポップなオブジェの数々に、絵本の世界に迷い込んだような気分になる宜蘭駅。それもそのはず、これらはすべて宜蘭出身の絵本作家、ジミー・リャオのお話の世界を表現したもの。ジミー広場と呼ばれ、宜蘭駅西口から道路を挟んで向こう側まで広い範囲に作品が点在している。童心に返って楽しむことができ、記念撮影にもぴったり。

「宜蘭駅」西口周辺一帯

少し足を伸ばして



KAVALANシングルモルトウイスキー。まろやかでほのかにマンゴーの風味が香る。お土産にも人気。700ml 2,100円。



### ガーマランツォガン 噶瑪蘭酒廠

2008年に発売以来、世界的な品評会で多くの賞を受けて業界を驚かせたKAVALANウイスキーの蒸留所。本場スコットランドをはじめ、北国で造られるイメージの強いウイスキーだが、KAVALANウイスキーが製造されているのは亜熱帯気候の台湾。独特のおいしさは一体どのようにしてできあがるのか…。その秘密に迫る蒸留所見学ができる。試飲コーナーもあり、通常の試飲の他、ウイスキーの飲み比べや、調合体験も。ショップでは独自のサービスや限定のものもあるので、お土産選びにも熱が入る。

宜蘭縣員山鄉員山路2段 326 號  
03-922-9000#1104  
入場料/無料(ウイスキー飲み比べ400円、DIY体験1,500円)  
9:00~18:00(土日は~19:00)  
年中無休  
「宜蘭駅」よりバスで約20分「金車酒廠」下車

樽の焼入れをし、ここで熟成させることで炭がウイスキーの雑味を取り除くのだそう。

選んで詰め合わせできる50mlミニボトル。



糖化→発酵→蒸留→樽詰めから熟成を経て完成。左は熟成年月によるウイスキーの色の変化だが、台湾は亜熱帯地域のため熟成が早く、台湾の6年ものはなんとイギリスの12年ものに匹敵するとか。

## ルオトン 羅東



活気ある夜市。週末は特に盛り上がる。

三星葱餅(35元)と肉葱卷(35元)。これでもかとぎっしり詰まった葱の甘みがたまらない。

ボリューム満点



## ルオトンイェシー 羅東夜市

和気藹々と賑やかで、夜市デビューにはぴったりの和やかさもある夜市。都会の夜市にはないローカルグルメがたくさんあって目移りするが、宜蘭地産の特産品・三星葱を使った一品は必ず押さえたい。取材班は三星葱餅と肉葱巻をチョイス。どちらも甘く柔らかい葱が具材にマッチして絶品。他にもチェリーダックやフルーツジュースなど、宜蘭の名物や農業が盛んなこの地域ならではのおいしさをとことん満喫して。



## 取材班の旅メモ②

### ユニークな駅弁屋さん



羅東駅で特徴的な駅弁スタンドを発見。台鉄の特急列車・ブユマ号がトンネルから出てきたかのようなデザインで、台湾の駅弁の定番・排骨弁当はもちろん、宜蘭の名物チェリーダックを使った宜蘭風味弁当も売られている。旅のお供に買ってこよう。

宜蘭縣羅東鎮 民生路・公園路・民權路周辺  
15:00~24:00頃(店による)  
年中無休  
「羅東駅」南東 徒歩約10分



少し足を伸ばして

### グッオーリーチュワンツォンイェシー 國立傳統藝術中心宜蘭園區



木工ギャラリーと染物ギャラリー。伝統の染物を身近に感じることが少ないが、小物にアレンジすることで身に付けやすく、ギャラリーには300~500円と手頃なものも多い。



台湾各地の古い街並みを参考に設計されたというレトロな文昌街。



陶芸やガラスのギャラリー。多種多様なお茶道具が並ぶ。

宜蘭縣五結鄉季新街五濱路二段 201 號  
03-970-5815  
9:00~18:00(一部~20:00)  
年中無休  
「羅東駅」よりバスで約20分「國立傳統藝術中心」下車



園内には廟宇や食べ歩きのできる屋台、レストランなども。

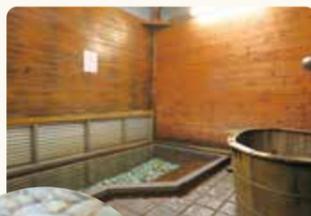
台湾の芸術文化、伝統技術に触れられるテーマパーク。魯班街、文昌街、臨水街と大きな3つのストリートがあり、そのうち魯班街では木工や染物、陶芸などジャンルごとに分かれたギャラリー兼ショップが設けられている。ギャラリーには伝統技術を使った現代のライフスタイルに合う作品も多く並び、そのアイデアと技巧の数々に時間を忘れて見入ってしまう。各々のスペースでDIY体験もできるので、気になるものはぜひ試してみよう。また、文昌街には衣食住にかかわる多くのショップが軒を連ね、お土産に事欠かない。

## スーアオ 蘇澳

### スーアオランチュワンツォンイェシー 蘇澳冷泉公園

蘇澳駅から程近く、徒歩10分程度の場所にある温泉ならぬ冷泉公園。ブクブクと泡が湧き出る炭酸冷泉で、水温は基本的に22度だが、暑くなればなるほど冷たく感じるのだそう。大衆浴場は工事中※だが、太ももまで浸かれる足湯と個人風呂が利用可能。個人風呂には冷泉を温めた風呂があり冬でも入れる。皮膚に良いと評判で、毎日入りに来る地元の人も多いとか。※工事は2018年12月まで

宜蘭縣蘇澳鎮冷泉路6-4號  
03-996-0645  
入浴料/70元(個人風呂は40分間200元)  
※タオル有料  
9:00~21:00  
不定休  
「蘇澳駅」北 徒歩約10分  
※入浴料・営業時間は今後変更の可能性あり。訪問前にお問い合わせを。



▶ 3月号は花東線・高雄を特集! いよいよ最終回!